

# 掛田自治協議会からのお知らせ 掛田の広場



第29号  
2022年3月24日  
掛田自治協議会  
〈発行責任者〉  
会長 大友靖子

**【掛田の魅力】**

- <自然> 茶臼山(桜) 徳が森 静か
- <歴史・伝統> 養蚕・生糸 茶臼山(掛田城) 三乗院 工芸(和紙・つらしびな)
- <祭礼・芸能> 霊山太鼓 亀岡神社祭り
- <食べ物> 美味しい野菜・果物 ラーメン・パン あんぱん、冬至かぼちゃ
- <かつての商店街> 専門店・映画館 食べ物屋 畜産市、マルシェ
- <交通> 道の駅 高速道・IC
- <隣市都市> ヨックミ 敷設道路 ポケットパーク
- <福利厚生> 病院 中央交流館 福祉施設 体育館
- <子ども> 安全・安心 施設の充実(学校・児童館・保育園) 遊び場所 元気・仲がいい
- <コミュニティ> ヨックミ 暮らし 人柄・人情 元気な高齢者

**【掛田の未来像】**

- <豊かな自然> 掛田美化推進 茶臼山公園 小国川散策 静かな暮らし
- <豊かな文化・伝統> 掛田折り返し糸会館 日本遺産 霊山太鼓伝承館 観光隊(PRキャラクター)
- <食の未来> 農業振興 高品質産 活気ある商店街
- <活気ある商店街> 街のグリーンアップ 空き店舗整備・若い人の仕事場 オープンカフェ 多くの若者が街なかを歩く、音楽イベント 特徴ある専門店(レストラン、趣味系) 醸造関係の店、クラフトビール ITソフトの町づくり 夜でも開いている飲食店
- <住みやすい町> 低家賃・安全性 移動販売 オンデマンドバス 地域毎のコミュニティ
- <コミュニティの充実> 優しい町 子育てのしやすさ 子ども連と地域の交流 こども食堂、食育交流 開かれた図書館 中央交流館の充実

昨年11月から始まった「掛田未来プロジェクト」ですが、月1〜2回の討議を重ねてきました。今年の冬は例年になく大雪の中、またコロナ禍の中ではありましたが、十分な感染対策をとりながら、続けてきました。

さびれる一方の「掛田商店街」、昔の掛田商店街の活気を知る高齢者は勿論、若い世代も危機感をもっています。なんとか活路を見出したい、少しでも商店街に活気を取り戻したいとの思いで議論を重ねています。グループワーク「掛田の魅力」では、「掛田のいいところ」を出し合いました。茶臼山、徳が森、養蚕、生糸の町と共に、おいしいラーメン、パン、花のある町などたくさん出されました。

続いて、掛田折り返し糸会館と霊山太鼓伝承館の建設、フリーマーケットの充実、子ども食堂、ITによる町づくり等、皆さんの大きな夢を語り合いました。

次回最終会議では、これらの掛田の魅力と未来の夢をまとめ、目指す未来の掛田像が現れる予定です。これがすぐに実現するわけではありませんが、一歩でも二歩でも前に進められればと思います。地域の皆様と一緒に掛田のまちづくりを考えていきたいと思います。(プロジェクトチーム委員長 八島恵吉)

## 「掛田未来プロジェクト」まもなく最終まとめへ



## イベントのお知らせ

- **茶臼山 清掃**  
3月26日(土)  
集合時間 8時50分  
集合場所 茶臼山登り口駐車場  
清掃作業は 9時〜11時30分  
皆さんの参加をお待ちしています。  
(掛田自治協議会)
- **茶臼山ライトアップ**  
桜開花に合わせて、ライトアップをします。  
茶臼山の夜桜を楽しんでください。
- **春の交通安全運動**  
4月6日(火)から4月15日(木)までの10日間  
(運動のスローガン)  
ぼくを見て 横断歩道の 小さな手
- **掛田の「歴史を訪ねるウォーキング」**  
4月9日(土) 中屋敷・下在方面  
集合時間 9時15分  
集合場所 霊山中央交流館  
参加費 300円
- **さくらまつりマルシェ**  
日時 4月10日(日) AM10:00〜PM2:00  
場所 旧やすまんしょ(中町)  
内容 春のスイーツ、お花見弁当、パン、新鮮野菜、果物、加工品、クラフト作品販売、お楽しみくじ引き大会  
出展者大募集!! 自分の作った作品を販売してみませんか?  
・問い合わせ りょうぜんマルシェ実行委員会  
090-7326-9036 (担当:佐々木)

## 伊達市社会福祉協議会 令和3年度善行表彰

伊達市社会福祉協議会では令和3年度善行表彰者として、渡辺芳房さんと高木聰さんを表彰しました。渡辺芳房さんは谷津地区の花壇の整備と霊山児童館花壇や田んぼ、ピオトープの整備を支援し、田んぼは掛田小学校5年生の学習に役立っています。高木聰さんは日向前地区の花壇整備と谷津入口にコスモスを植栽し、コスモス街道として秋の風物詩となっています。

(民生委員 寺島すみ子)

## 令和3年 霊山中央交流館利用状況

各団体の皆さん、町内の皆さんには霊山中央交流館を利用して頂き、ありがとうございます。コロナ非常事態宣言が令和3年9月30日まで延長され、その後まん延防止等重点措置となり利用制限はなかったが、各団体の自主的な利用自粛等により、利用者が2年連続の減少となりました。まん延防止等重点措置が3月6日解除となりましたがコロナの完全収束を願ひ、もとおりの活気ある交流館を取り戻したいものです。(事務局)

利用月	回数	人数
1	40	273
2	64	1,363
3	102	1,049
4	101	1,024
5	76	1,107
6	107	1,058
7	94	976
8	74	884
9	89	881
10	79	1,994
11	91	1,211
12	94	1,031
合計	1,011	12,851

## 数々の感動をありがとう。 北京冬季オリンピック

コラム

昨年の東京オリンピックに続き北京冬季オリンピックは、コロナ禍観衆制限のもと繰り広げられ、世界中にテレビやネットで放映され、手に汗を流して観戦感動の連続でした。どうしてこんなに感動するのだろうか。

多くのアスリートの皆さんがお国の期待を受け、プレッシャーを撥ね退けての勝利を得る選手、あと一歩のところまで勝利の女神の微笑みを逃した選手。オリンピックには魔物があり、予想外のドラマに、いずれも死力を振り絞る戦い、その結果での

涙は胸を打ちます。その戦いの後競い合った勝者と敗者の涙の抱擁は清らかなスポーツマンの姿、これがそがオリンピック・パラリンピックが平和の祭典オリンピックスピリットなのです。日本選手の活躍もさまざまに多くの氷上・雪上などで最高のメダルを獲得し数々の涙・感動のドラマをありがとうございました。

一方、競技上のジャッジや運営などに問題もあり、平和の祭典としての課題を残したと思います。また、ロシアによるウクライナ侵攻は激しさを増しております。この侵攻は何が何でも許し難い事で武力による侵略は不幸を招くだけ、これこそオリンピック・パラリンピックの平和の理念を大事に、一刻も早いお互いに許しあう解決を願っております。

## 編集後記

この「掛田の広場」29号もお陰様で今年度最後の発行となりました。この一年、いろいろと読者の皆さんのあたたかい協力を頂き無事発行出来てホッとしております。

この一年、昨年が続いてコロナ感染の勢いが続いており多くの皆さんが3回目のワクチン接種となったのではないのでしょうか。一日も早い特効薬の開発が望まれます。それまでは、マスク、手洗い・三密を避け自己防衛が必要で「移らない・移さない」を心がけましょう。

またこの冬は近年になく寒く大雪が続きました。コロナと寒さであり行事も出来ませんでした。来年こそは、いろいろと考慮し前進していきたいものです。

皆様のアイデア、ご意見もよろしくお願いします。

## 健康づくり講演会

2月26日(土)午後「果籠り」でなまった体力を回復する運動」というテーマで、講師には「ふくしまスポーツプロモーション健康運動指導士」の本田美樹氏(石田出身)をお迎えし「健康づくり講演会」を開催しました。コロナ禍で全ての行事が中止や延期となる中の企画で参加者があやふまされたが、男女約30名近い参加が得られて実施されました。

先生からコロナ禍で外出を控えることは「体力の衰え」ばかりでなく、他者との係わりが薄くなり「脳内活動の衰え」が懸念されます。その衰えを回復・予防する家庭でもできる運動を実技をしながら紹介されました。特に、言葉と指・手・足が同時に反対に動かす実技では笑いにつつまれ、体と脳内活動への効果が大きい期待される講演でした。

(健康福祉部長 八島利幸)



お問い合わせ先 霊山中央交流館  
電話 586-1314 FAX 586-3391  
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp



前列：6年生代表佐藤優美さん・佐藤葉波さん 森久保部会長  
後列：安達文雄分会長・渡邊校長、安田利喜雄副分会長

**掛田小学校卒業生に記念品贈呈**

2月24日(木)午前11時から伊達市霊山町掛田小学校(渡邊おかり校長)で、伊達地区交通安全協会霊山部会掛田分会から卒業生34名に記念品が渡されました。交通安全協会掛田分会では毎年この時期に1年間の労苦に対し記念品を贈っています。

掛田小学校では交通安全教室を始め、登校時の交通事故防止に6年生が率先して協力した活動を実施しています。

今年も交通安全協会掛田分会長(安達文雄)



記念品贈呈

はつらつ教室

フラダンスでクリスマス

12月17日(金)霊山中央交流館大ホールで、はつらつ教室(フラダンスでクリスマス)を開催しました。「J・A女性部フラメイツ」の皆さんを講師に迎え、フラダンスは初体験の方が大半でしたが、各自レイや髪飾りを着け、見よう見まねでフラダンスを踊りました。

ティータイムではサプライズでサンタさんも登場しました。クリスマスソングを歌ったり、講師のみなさんにすてきなフラダンスを披露していただいたりと、思い出に残るクリスマス会となりました。

(はつらつ教室 事務局)



ティータイムの皆さん



フラダンス初体験

昔あそびを楽しもう

1月21日(金)霊山中央交流館大ホールで、はつらつ教室(昔あそびを楽しもう)を開催しました。「ちよこつと体操」で身体をほぐした後、折り紙でお雛様を折りました。最初は苦戦していましたがすてきなお雛様が出来上がりました。続いてあやとりを披露してまわりを驚かせてくれました。お手玉遊びでは、歌のリズムに乗せて全員でお手玉を回すのですが、珍プレーが出るたび笑い声があふれ、とても楽しい時間を過ごしました。

(はつらつ教室 事務局)



お雛づくり



あやとり遊び

華やかな

「ミニ門松」をつくらう

掛田自治協議会「第2回ミニ門松作り」が12月18日(土)霊山児童館を会場に行われました。

今年も、泉原の岡崎孝雄さんの指導で門松のいわれを学びながら12組の親子が参加しました。約1時間後には高さ50センチの華やかなミニ門松を作り上げました。

赤が映える南天と縁起物の松竹梅を飾り梅は正月に咲くように工夫されています。完成後に掛田自治協議会大友会長と一緒に正月の歌を歌い楽しみました。

(社会教育委員会 小松田道雄)



立派な門松が出来ました

「信達三十三観音」についての学習会

1月19日(水)に霊山生涯学習を楽しむ会主催の「霊山学」が霊山中央交流館で開催されました。講師に保原歴史文化資料館の学芸員高橋信一様を招き「信達三十三観音」について講義をいただきました。

かつて、信達三十三観音霊場は、観音菩薩を巡礼する民間信仰の場となり、人々の安寧を祈る場所となっていました。

町内では千尋寺観音(聖観世音)と霊山寺観音(千手観世音)が、信達三十三観音霊場になっています。

桜の季節、コロナ禍の収束を祈り、観音霊場巡りをしてみませんか。

(受講生 引地喜興志)



熱心に聴く受講生



久しぶりの学習会にワクワク

掛田婦人会新年交流会

コロナ禍のなか昨年度は活動がほとんどできませんでした。感染が幾分治まった1月19日(水)に感染対策をして新年交流会を行いました。

大友靖子さんを講師に迎え、民話のお話を3作(鶴の恩返し、雪娘、天福地福)と、絵本(せつぼうの濁点)を語っていただきました。一つ一つの身振り手振りの表現に表情豊かな話術、物語のなかに吸い込まれるように時が過ぎ、満たされた気持ちでいっぱいになりました。最後に講師より参加者全員に手づくりの折り紙やお菓子のプレゼントをいただき、大満足の時間でした。



語り部 大友靖子さんの講話

霊山町にはこんなに凄い力を持った方がいるんだと改めて感じ、私達だけで築

(掛田婦人会長 八島良子)

徳が森花だより

徳が森には、山小屋近くに寄贈されたロウバイの苗木が少しずつ成長してきました。

由来の一説には、陰暦の12月にあたる臘月にウメの香りの花を咲かせるため、半透明でにぶいツヤのある花びらがまるで蠟細工のようであり、かつ臘月に咲くことにちなむと言われています。

(徳が森環境整備プロジェクトチーム 森久保律子)



ロウバイ(蠟梅) 中国原産の落葉樹

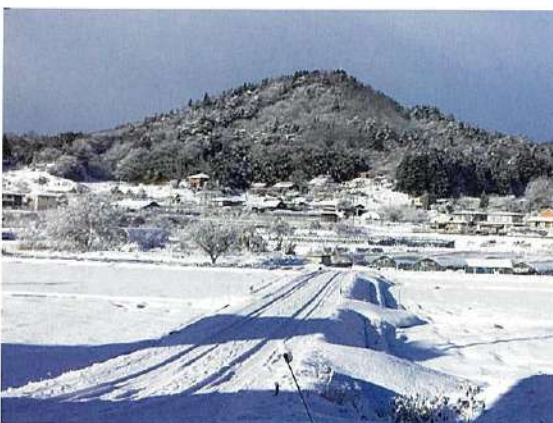


異常な大雪に悩まされた今年の冬

掛田街も毎年積雪を観測されますが今シーズンは大変でした。例年ホワイトクリスマス、いわゆる寒波到来でタイヤ交換から冬將軍との戦いが始まります。今シーズンは12月に20センチ以上の降雪から始まり、正月頃には根雪となり、その後も毎日のように、しかも強風で1日降り続くと言う現象が続きました。家の周りや道路の雪かきが大変でした。バス停掛田駅から町内への道路や商店街など日陰の場所では道路が雪(氷)で凸凹となり、ハンドルをとられ、車の運転が大変でした。建設業者の方々は早朝から雪かきに尽力頂きましたが、生活道路全部をカバー出来ない状況も続きました。

高速道路が閉鎖された事や、国道・県道での交通渋滞に巻き込まれ苦労された話も多く聞きました。中通り地区でも県北地区が大雪に悩まされた今年の冬でした。

(環境防犯部長 森久保操)



田沢から中屋敷を見た雪景色